

7月 谷間の百合

学校法人信栄学園 幼保連携型認定こども園 平幼稚園

「隣人を自分のように愛しなさい。」マルコによる福音書 12章 31節

園長 平澤芳子

紫陽花が咲き梅雨の季節を迎えています。子ども達は、水遊びを楽しみ、時には泥んこになって遊んでいます。自然に恵まれた良い環境でのびのびと幼稚園で過ごして貰いたいです。

イエス様は「あなたの神を愛しなさい。また隣人を自分のように愛しなさい。」と言われどちらも大切にするように教えています。

私たちの生活で大切なこと、それは神様を愛すること、そして隣人を愛することです。隣人を愛するためにはどうしたらよいか、聖書ではまず「父母を敬いなさい。」と教えています。お父さんお母さんを尊敬しなさい。大切にしなさい。ということです。お父さんお母さんは子ども達よりも先に生まれた人です。当たり前のことですが、しかし先に生まれるとは漢字に直すと先生という字になります。お父さんやお母さんは先生です。そして、いつまでたっても先生なのです。「父母を敬え。」このことを忘れないで成長して欲しいと思います。同時にこれはお父さんお母さんにも言われていることです。お父さんお母さんは子ども達に尊敬されるようにしなさいということです。お父さんお母さんは特に神様に代わって神様から預かった子どもを養育する責任を負っているということです。このことを覚えてほしいと思います。ですから子ども達の前でいい加減に振る舞ってはならないのです。子どもは自分たちが勝手にできる。そういう者ではないのです。神様から託された大切な人間です。子どもたちが愛情を、隣人愛を覚えるのはお父さんお母さんを通して、つまり大人を通してです。手をつないで「お父さん、お母さん」と子どもが安心して呼びかける。そして、お父さんお母さんが子どもに答える。こうして子どもは愛情を知るのです。そしてこの訓練が神様を知ることにつながるのです。そこから隣人愛も知るのです。隣人愛の基礎はこの「父母を敬え。」という聖書の言葉で築かれています。この月も、神様から祝福を受けたひとりひとりのかけがえのない子ども達を私たちはお預かりしている。この事を家庭でも幼稚園でもしっかりと心にとめてイエス様の愛を子ども達に伝えていきたいと思ひます。

7月の行事

3日(水)	避難訓練④
4日(木)	観劇(あい組)
5日(金)	親子ふれあいデー(あい組)
11日(木)	防犯訓練② ・お弁当の日
18日(木)	誕生日祝会
19日(金)	第一学期終業式 夏まつり
8月26日(月)	第二学期始業式(幼児午前保育)

わたしは愛されていると感じ 心満たされて今を生き
明日の希望を持つために

2024年度年主題
さあ、漕ぎだそう 奏でよう
年主題聖句
わたしは道であり、真理であり、命である。
ヨハネによる福音書 14章 6節

<キリスト教保育・月主題7月>

乳児クラス (0歳児)「きもちいいね」 (1.2歳児)「ぞんぶんに」

幼児クラス (3.4.5歳児) 「こちよく」

花の日・こどもの日礼拝

6月14日(金)花の日・こどもの日礼拝が行われました。13日には準備も子ども達と行いました。子ども達は自分の花束をホールに持って行き同じ花や同じ色の花が入っているバケツの中に差し込んで飾りつけをしました。自分が持ってきた花を友達と見せ合う姿も見られました。

沢山の花に包まれて集合写真を撮った子ども達。幼児クラスの礼拝では、「お花屋さんゲーム」も楽しみました。自分の知っている花や自分が持ってきた花の名前を言っていました。礼拝後あい組が明治団地の特別養護施設「ひなた」さんを訪問し、花束や歌のプレゼントをしてきました。施設の方が準備してくれた〇・×クイズも楽しんでできました。涙を流して喜んでくれたおじいちゃん、おばあさん、収穫感謝祭礼拝後もまた会いましょうね。

地域の方々やメフォスさんにも普段お世話になっている感謝をこめて花束を持って行きました。沢山のお花のご協力、ありがとうございました。



<花の日とは>

1856年アメリカのチャールズ・H・レナード牧師が毎年6月の第2日曜日の礼拝に、子ども達を集めてこどもの日の特別礼拝を行ったのが始まりです。この時期は夏の花が咲き始める頃でもあり「花」にまつわるイベントや礼拝も行われ、「こどもの日」と「花の日」が結びついたと言われています。花を持ち寄って教会堂を飾り、礼拝後に子ども達はその花を持って病院や施設を訪問します。花の日は子ども達が奉仕の精神と感謝の気持ちを学ぶ機会として大切にされてきました。
引用: <<https://kurashi-no.jp/10032772>>